

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和5年9月22日

和泉市長 あて

団体名 いずみこどもAID  
 代表者名 北野 美香、 増田 千英美  
 所在地 和泉市光明台2-4-23  
 電話番号 090-6730-9653

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場 「CoCo de おしゃべり」
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 184,338 円 (うち、対象経費 _____ 184,338 円)
支援金 交付申請額	_____ 92,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 団体概要調書

フリガナ	イズミコドモエイド		
団体名	いずみこどもAID		
団体の目的	こどもが安心できる環境づくり		
市内事務所の所在地	〒594-1111 和泉市光明台2-4-23 【専用事務所 ・ <u>住居と兼用</u> ・ その他（ ）】		
	電 話	090 (6730) 9653	F A X ( )
フリガナ	キタノ ミカ		
代表者氏名	北野 美香		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※ フリガナ	電 話	
		F A X	
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	平成 18 年 4 月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 ( ) <u>無</u>	会員数	52 人
メールアドレス			
ホームページ	<a href="http://izumi-kodomo-aid.org/">http://izumi-kodomo-aid.org/</a> ブログ <a href="http://ameblo.jp/cocoizumi2014/">http://ameblo.jp/cocoizumi2014/</a>		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイルドライン事業</li> <li>・こどもの居場所事業</li> </ul>		
主な活動の実績	平成 12 年 チャイルドラインいずみ運営委員会発足 平成 18 年 チャイルドラインいずみ AID 設立 市と協働でチャイルドラインいずみの運営 平成 26 年 いずみこども AID に名称変更 平成 26 年 9 月～ こどもの居場所「CoCo」の運営		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書

1 事業名	学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場 「CoCo de おしゃべり」
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等</p> <p>不登校のこどもは年々増加し、それは和泉市でも同様です。（千人率：小学校 令和元年度 6.9人→令和2年度 12.7人、中学校 令和元年度 37.4人→令和2年度 44.9人「令和3年度和泉市教育委員会の点検・評価報告書（令和2年度事業対象）」より）</p> <p>無理に学校に行く必要がないと言われるようになってきました。確かにそう思います。では、どこに行けば、どこに居ればいいのでしょうか。学校に行っていないこどもの学ぶ権利はどう保障されるのでしょうか。学ぶ権利もゆっくりと休む権利も遊ぶ権利も侵害されたままの状況です。こどもが自分らしく安心して過ごす場所を作ることが、まず一歩目の権利保障になるのではないかと考え、居場所を開設しました。</p> <p>社会において不登校への理解が進んできたとはいえ、周りに相談できる相手もおらず、一人で抱えている保護者がまだまだ多くいます。こどもと一番長く過ごす保護者の心の状態は、こどもにも大きな影響を与えます。保護者の気持ちが少しでも安定する事が、こども支援にもつながると考えました。</p>	
<p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果</p> <p>〈学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が大切にされていると体感することで、自己肯定感を育む</li> <li>・家族以外の人（スタッフ・他のこども）と関わることで、社会性や人との距離感を身につける</li> <li>・自分の気持ちを大切にしながら自分のペースで過ごすことで、心のエネルギーがチャージされ、自らの力で進みだす</li> </ul> <p>〈学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場「CoCo de おしゃべり」〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が自分の気持ちを吐き出すことで気持ちが少し楽になり、その結果、こどもへの関わりにより影響を及ぼす</li> <li>・保護者が交流の場に参加することで、他の保護者の経験談や不登校に関する情報を得て、子どもとの関わりの手がかりがつかめる</li> </ul>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。</p> <p>【学校へいきづらいこどもの居場所の開設】「CoCo」</p> <p>来所したこどもとスタッフが一緒に過ごす。スタッフは、指導や助言をするのではなく、こどもの気持ちに寄り添いながら、こどもが自分の気持ちを大切に、自分で選んで動いていける環境をつくる。些細なことでも自分で考えて自分で選ぶという自己決定を繰り返す過程や、その結果を尊重してもらえるという体験はそのこどもの自信となり、次のステップに進んでいくことができる。放課後同級生と遊ぶようになったり、学校へ通うようになったり、逆に家庭でゆっくり過ごせるようになった子どももいる（こどもが居場所へ行き、少し距離を持つことで、保護者自身も状況を受けとめる時間ができ、子どもへの理解がすすむと考える）。</p> <p>月に一度は一般開放日を設け、興味のある方、地域の方への理解や周知を図る。</p> <p>8月にこどもが楽しめるイベントを開催し、多くの方に居場所の存在や雰囲気を知ってもらう機会とする。</p>	

<p>【保護者同士の交流が持てる場の提供】「CoCo de おしゃべり」          学校へいきづらいこどもの保護者が、自分の気持ちを話せる場を設ける。          不定期にゲストを招き、保護者の気付きにつなげる          「CoCo de おしゃべり拡大版（講演会）」を開催し、当事者の保護者や不登校などのこどもに関する社会課題に関心のある方々の理解を深める。          他の人に気持ちを聴いてもらうことは有効であり、かつこのような場がまだまだ少ないという現状から、この場に参加した保護者自らが主催する交流の場が生まれている。          【その他】スタッフを養成する講座、スタッフの継続研修の実施</p>	
② 実施期間（日時）	<p>「CoCo」 毎週火曜日（8月と祝日は除く）          「夏のイベント」 8月中の一日          「CoCo de おしゃべり」 毎月2回（5月・1月は1回）</p>
③ 実施場所	<p>「CoCo」 和泉市万町 弘法寺内          「CoCo de おしゃべり」 和泉市内公共施設</p>
④ 主な対象者	<p>「CoCo」 小学生から18歳までのこども          「CoCo de おしゃべり」 学校へいきづらいこどもの保護者</p>
⑤ 参加予定者数	<p>「CoCo」 登録者5名          「CoCo de おしゃべり」 5名程度（定員なし）          拡大版 30名</p>
⑥ 告知方法	<p>ブログ・インスタグラム・メルマガ配信          チラシ配布・広報いずみ掲載・泉北コミュニティ掲載</p>
<h2>5 事業スケジュール</h2>	
次期（月）	<p>内容</p>
4月 ～ 3月	<p>○「CoCo」毎週火曜日（45回）          8月と祝日の火曜、年末年始は休み          8月は、子どもが誰でも参加できるイベントを1回開催          ○「CoCo de おしゃべり」（全22回）          毎月2回 和泉市内の公共施設で開催（5月・1月は月1回）          参加人数を増やした拡大版（講演会）の開催1回          ○見学・説明会・居場所体験・登録者の保護者との個人懇談会</p>
<h2>6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照          （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）</h2>	
① 公益性	<p>不登校の子どもは年々増加しており、低年齢化も進んでいます。和泉市も例外ではありませんが、不登校の子どもが通える場所は和泉市には教育センターの適応指導教室、民間のフリースクール1件（2023.9現在）と「CoCo」しかありません。大阪市内まで行くと民間のフリースクールもありますが、高額な費用がかかります。多様化する社会の中で、しんどいと感じる子どもの状況も多様であることから、学校以外の居場所も自分に合うところに通うことが望ましいと考えます。当居場所はそのような子どもの選択肢の一つとして存在しています。</p> <p>不登校または学校に行きづらい子どもを持つ保護者は、周りに気持ちを話せる場がなかなかなく、孤立しがちです。保護者が情報共有や気持ちを受けとめてもらえる場に参加することで、つながりを得て保護者自信が少し楽になり、その結果、子どもの気持ちの受けとめ方や声かけにも変化が現われ、子どもにも良い影響が及ぶと考えます。また、親戚や知人ではなく、全く知らない人にだからこそ話せる事もあるのではないかと考えます。</p>
② 継続性	<p>学校以外でもフリースクールや塾、習い事なども居場所となりますが、費用が</p>

	<p>かかります。「CoCo」では、家庭の経済状況に関わらず「学ぶ権利」「休む権利」「遊ぶ権利」を保障する場を作りたいと考えています。そのため、利用者からは登録費（保険代含む）のみとし、補助金やさまざまな方のご支援、バザーなど（ここ3年、コロナの影響でできず）で運営資金を調達しています。</p> <p>学校以外の居場所や学校に行かない子どもを持つ保護者同士が交流できる場はまだまだ少ない状況であるため、本事業を継続し周知していくことで、子ども本人やしんどさを一人で抱えている保護者にも浸透させていきたいと考えています。</p>
③実行性	<p>平成26年から居場所を運営し、約15名のスタッフが子どもと関わっています。多くの人と関わりを持つことで、価値観や距離感の違いを感じてもらうことができるのではないかと考えています。</p> <p>保護者交流会は平成27年から実施し、スタッフ2名体制で当日の運営をしています。近くで開催されるならちょっと行ってみようかと思う人もいないかと考え、令和元年より市内公共施設の4カ所を順に巡るように開催しています。公共施設は駐車場の心配もなく、参加しやすいように思います。不定期で、子ども支援に関わる方をゲストに迎え、専門的助言や気づきを得る機会を持っています。2023年度より、平日午前中仕事の保護者も参加しやすくなるよう、土曜午後と平日夜にも開催しています。</p>
④協働性	<p>不登校または学校に行きづらくなることは誰にでも起こりえます。今はそうではなくてもこのような居場所があることを知ってもらいたいと考え、公共施設へのチラシ配架やポスティングなどで周知に努めています。また、2023年度は8月下旬に「プチ縁日」を開催し、地域の子どもや保護者の参加が多くありました。「CoCo」で知り合った保護者が、その後も交流を続けているということもよく聞いています。また、子どもに関わるさまざまな団体やコミュニティソーシャルワーカー（以下CSW）さんとのつながりを持ち、事業の周知や交流を図っています。CSWさんは一般開放に見学に来ていただきました。また和泉中央のフリースクールさんが行うイベントへの参加も検討中です。最近和泉市内でも保護者交流会を開催している方も増えてきました。その方々とも対話の機会やSNSでのつながり、チラシを交換するなどの連携があります。</p>
⑤公開性	<p>チラシを作成し、市役所や市内公共施設に配架。和泉市教育センターより市内小中学校へチラシを送付しています。広報いずみや泉北コミュニティにも掲載して周知をはかっています。月1回のメルマガ配信やブログ、インスタを通して、活動の様子が伝わるよう努めています。</p>
⑥発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	<p>不登校は年々増加しているにも関わらず、その対応はなかなか進んでいないのが現状です。保護者だけで、または教師だけで抱えるのではなく、地域や関係者みんなが連携して、今のその子どもに適した環境を提供していくのが望ましいと考えています。この事業を始めた頃に比べて、社会の不登校に対する理解も少し進んで来たように思います。また、当事者の保護者による親の会もいくつもできてきました。けれど、保護者の仕事や経済面が理由で、誰ともつながれずにいる子どもや保護者はまだまだいると考えます。その人たちに、どうしたら「CoCo」の存在を伝えられるのか、どうしたら行ってみようと思ってもらえるのか、この課題に対して開設当初から試行錯誤を繰り返しています。</p> <p>不登校は、一時的な場合もあれば、長期に渡る場合もあります。こどもの気持ちを大切にしたい居場所として、「CoCo」はその選択肢の一つとして在り続けたいと思います。また、おしゃべりの場で、保護者の喜びや不安、しんどさに寄り添っていききたいと考えています。</p>

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称：学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」  
 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場「CoCo de おしゃべり」

## 1. 【収入】 (単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	92,000 円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	5,000 円	子ども登録費用 1,000×5 人
自主財源	87,338 円	寄付、団体会計
合計	184,338 円	

## 2. 【支出】 (単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	30,000 円	おしゃべり講師謝礼(5,000 円×2 回、20,000 円 1 回)
旅費	2,400 円	駐車場代 100 円×2 人×12 回 (おしゃべり有料駐車場の施設)
消耗品費	41,000 円	チラシ用A4カラー用紙 会議資料用A4コピー紙 3,500 円 会議資料印刷インキ代 1,500 円 衛生用品（キッチン・トイレ・コロナ関連） 9,000 円 居場所イベントデー製作材料費・食材費 1,000×11 回 11,000 円 夏のイベント食材費 夏のイベント製作・材料費 16,000 円
食料費	450 円	おしゃべり講師お茶代 150 円×3 回分
印刷製本費	9,000 円	チラシ印刷（カラーA4両面 700 枚）7,000 円 コピー代（カレンダーA4カラー50 枚×6 枚×6 回、 カレンダー掲示用A3、保険用紙）2,000 円
役務費	11,708 円	書類郵送料（保険 84 円・カレンダー84 円×3 人×12） 3,108 円 保険料 800 円×5 名(子ども) 4,000 円 保険料 800 円×5 名(スタッフ) 4,000 円 夏のイベント保険代 600 円
使用料及び賃借料	89,780 円	シティプラザ(AM) 1760 円×6=10,560 円 北部リゾ ン(AM) 1200 円×5= 6,000 円 南部リゾ ン(AM) 1150 円×5= 5,750 円 人文センター(PM) 1870 円×5= 9,350 円 人文センター(PM・拡大版) 1 回 3,120 円 弘法寺（こどもの居場所 CoCo）55,000 円
合計	184,338 円	
対象経費	184,338 円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書 追加資料

1 団体名	いずみこどもA I D
2 事業名	学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場 「CoCo de おしゃべり」
3 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース                    ■ ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
4 令和5年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こどもの居場所『CoCo』」スタッフ体制について 午前と午後でスタッフが入れ替わると、「子どもの状況や関わりを共有する時間が持てずに交替となる。」という令和4年度の反省から、令和5年度は開設時間を短縮することでスタッフの入れ替えのない2名体制としたが、14時での閉所は早いように感じた。令和6年度は、毎週は無理でも、開設時間を延ばすことを検討したい。</li> <li>・広報活動について 「こどもの居場所『CoCo』」「CoCo de おしゃべり」のどちらも継続した課題となっている。令和5年度は、地域の様々な方に参加してもらえる子ども向けイベントを実施した。6年度も引き続き、そのようなイベントを開催するとともに、保護者・おとな全般に向けた講演会を開催し、居場所の広報だけでなく、不登校への理解も深めていきたい。</li> </ul>
5 令和6年度事業において以下のことについて記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに取り組む事項</li> <li>・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項</li> <li>・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に変化がある事項 等</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講対象を限定しない講演会の開催 「学校に行きづらいこどもの保護者」という対象をなくすことで、学校に行きづらい子どもを持つ保護者にとっても参加しやすくなるのではないかと考えている。また、子どものことに興味を持っているおとなの理解を深め、活動への参加につながるとうれしい。</li> <li>・夏まつりイベント 令和5年度夏休みに開催し、約100名の参加があった。チラシに和泉市後援とあることや、市の広報で事業を知ってくれている方も多くおられ、信頼や安心感のもと多く参加いただけたように感じる。</li> </ul>

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。